

建物を大きく揺らす「長周期地震動」を知っておこう

大きな地震が発生したとき、地上は揺れていなくても、高層ビルなどの高層階では船に乗っているような大きなゆっくりとした揺れを感じることがあります。

このような揺れのことを「長周期地震動」といいます。「長周期地震動」が恐ろしいのは、震源から数百キロメートル離れている場所でも大きな揺れをもたらし、ゆっくりとした揺れが長い時間続き、揺れによる建物被害などが発生することです。この大きな揺れにより、家具類が倒れたり、落ちたり、大きく移動したりする危険があります。

■長周期地震動の特徴(図1)



■長周期地震動階級(図2)

階級4	<ul style="list-style-type: none"> ●立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされる。 ●キャスター付き家具などが大きく動き、転倒するものがある。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。
階級3	<ul style="list-style-type: none"> ●立っていることが困難になる。 ●キャスター付き家具などが大きく動く。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。
階級2	<ul style="list-style-type: none"> ●室内で大きな揺れを感じ、物につかまりたいと感じる。物につかまらなると歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。 ●キャスター付き家具などがわずかに動く。棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。
階級1	<ul style="list-style-type: none"> ●室内にいたほとんどのかたが揺れを感じる。驚くかたもいる。 ●ブラインドなど吊り下げものが大きく揺れる。

令和5年2月1日から緊急地震速報の発表基準に長周期地震動階級3以上が追加されました

長周期地震動の揺れの大きさは、震度とは別の階級1から4の4段階で表されます。(図2参照)

令和5年2月から長周期地震動階級3以上を予想された地域には、気象庁から緊急地震速報が発表されます。

緊急地震情報を受け取った際のとるべき行動は、従来と同じ、揺れに備えるなど身を守る行動をとってください。

※長周期地震動の影響を受けると考えられる建物の基準は、おおむね14階建て以上の建物や免震構造の建物を対象としています。

※低い建物でも、免震構造の場合は揺れることがあります。

紹介されています。子育て応援!!0,1,2,3,サークルの「保育士と遊ぼう」や、あそびの広場「だっこ」でふれあいあそびを実施しています。「いつぱんぱん」こちよこちよ」で遊んだ時には、1歳半を過ぎたお子さんは、「こちよこちよ」で遊ぶところ、大好きで、ワクワクしながらそ

りができるようになります。楽しい時間を子どもと一緒に共有することで、パパ・ママも子育てを楽しめることができます。気持ちに余裕を持っているのではないかと思います。

優しいまなざしで声をかけるふれあいあそびのわらべうたは、子どもたちの心や体の成長にとっても有効であると言われています。その良さを見直し、いろいろな子育て支援の場で活用され、親子のコミュニケーションツールの一つとしても紹介されています。

初めての育児で、赤ちゃんに何を話しかければいいのか、どうやって遊んであげればいいのかかわからないと悩まれるかたもいますが、そんな時は知っているわらべうたで遊んでみてはいかがでしょうか。繰り返し遊ぶ中で子どもとの心のやり取りができるようになります。

わらべうたと言えれば何が思い浮かびますか。「いないいないばあ」「やいばんぱんぱん」「こちよこちよ」などたくさんありますね。幼いころ遊んでもらったり遊んだりした記憶が誰にでもあるのではないのでしょうか。

7か月の赤ちゃんも、目と目を合わせて歌いかけると、手足をバタバタさせて喜んでいました。小さくてもちゃんと反応して、人と関わる楽しさや喜びを感じていました。

Vol.65

わらべうた

みんなで子育て
**だっこで
ほっと**

子育て支援センター
☎ 25 7225

一人一人が備えてこ！

防災力UP！鳥羽

総務課防災危機管理室
☎ 25 1118

vol.116